

# 茂原中央病院 リハビリ実習内容

当院の実習ではクリニカルクラークシップにて診療に参加して様々な疾患の方と関わります。また多様性による療法士の役割や目的または職能を学び体験してもらえるように専門部署での実習となります。ディリーノートはポートフォリオ型式で提出となり症例レポート・レジメ作成はなく日々の臨床経験を多く積める教育実習としています。



## 今日の体験は明日への希望

## 目指せ感性豊かなセラピスト

### クリニカルクラークシップ Clinical Clerk Ship

学生は医療チームの一員として患者の医療にかかわる形で実習を行い、医療の現場で真に求められているものは何かを感じ取りより実践的な臨床能力を身に付ける臨床参加型の実習。

#### 指導目的

- ★技術単位診療参加システム
- ★見学・模倣・実施の原則
- ★学生が診療に参加
- ★指導者が実際に行うアプローチを近くでみて手伝う
- ★セラピストという職業について学ぶ



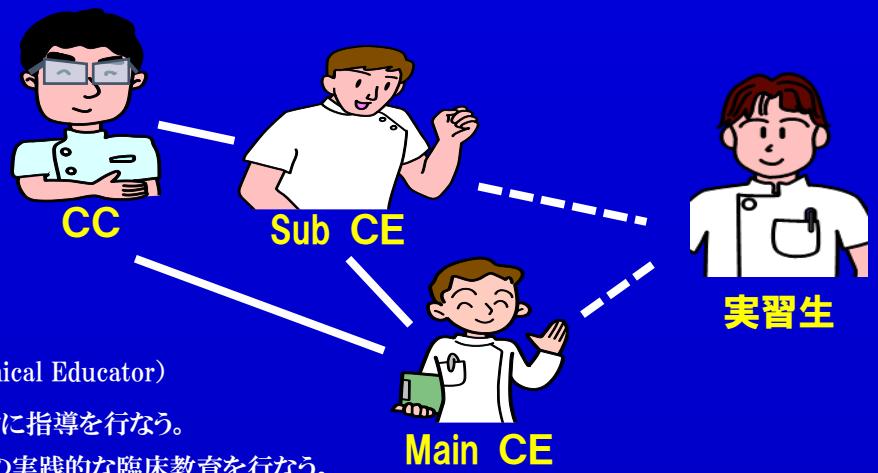
#### 実習の流れ

専門部署(入院 or 外来 or 通所)にて実施

\*時期にて訪問リハビリ日がありますので事前連絡時にお知らせします。

## 指導体制

### 複数指導者型



CC : クリニカル・コーディネーター  
臨床教育全体を調整する総括責任者

CE : クリニカルエデュケーター 臨床教育者 (Clinical Educator)

Sub CE : Main CEを見守り、実習生を全体的に指導を行なう。

Main CE : 実務を教え、相談に乗り、症例ごとの実践的な臨床教育を行なう。

## 学生が行う課題

### ディリーノート

⇒ポートフォリオ型式にて提出

\* 紙入れ、札入れを意味する。

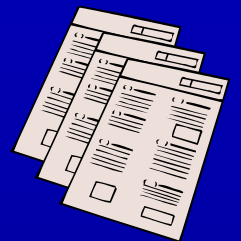
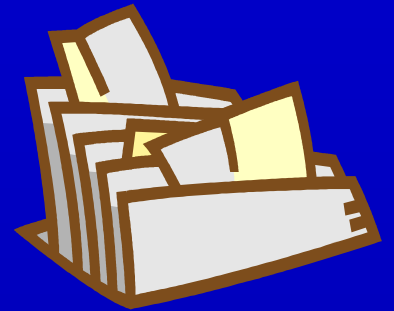
\* 臨床研修期間中に短時間で日々の成果や軌跡を一元化して記載できる。

\* クリアポケットファイルを使用 (当院で用意します)

\* 1日分を1枚の中に入れて時系列で挿入して管理していく

\* フォーマットに沿って入力

※養成校にて指定様式がある場合はそちらで準じます。



## 実習当日

8:30 外来棟正面玄関より入館

1F事務所へお声掛け下さい。

事務職員がロッカーの案内をします。

9:00 オリエンテーション

リハ科説明・目標設定・CCS講義など

12:00 昼食

13:00 院内見学・情報収集 etc.

17:00 CEとの顔合わせ

帰宅

※行き帰りの服装は私服で可能



# 連絡事項

- ①マスク、フェイスシールド、手指消毒、評価器具等は貸し出します。
- ②個人PC やタブレットの持ち込み可能
- ③冬季は寒いので防寒対策可 (インナーやジャージ/カーディガンなど)
- ④行き帰りの服装は私服で可
- ⑤自動車、バイク等での通院可
- ⑥敷地内全面禁煙

## ◆体調管理(以下の症状がある場合は実習が休みとなります)

- ①体温 37.5 度以上
  - ②呼吸器症状(咳・痰・息苦しさ)が悪化している場合
  - ③のどの違和感(痛み・いがいが感・嘎声)が悪化している場合
- ◎アレルギー性の症状がある方は相談して下さい。  
◎解熱または症状が軽減にて実習再開となります。

## ◆当院での臨床実習では、訪問実習の指示がある場合は以下の物を用意しておいて下さい。

- ポロシャツ ⇒色は自由・無地・ワンポイントまで
  - 靴下の替えを多く準備しておいて下さい。
  - 外靴の用意(スニーカー)
  - 訪問時の荷物入れ ⇒トートバッグのようなものでもOK
- ※学校指定ユニホームのズボンが白色の学生は汚れ等が目立ちやすいのでジャージ etc.の動きやすいズボンを用意して下さい。  
※冬季は寒いので防寒対策(インナーやジャージ上着、ジャンパー等)の用意をしておいて下さい。

## 昼食

持参/売店利用可能

## 休日

週休 2 日、指導者の休みと合わず  
固定休(日曜日・祝日)

※実習開始 1 週間前に最終確認の  
メール連絡を行って下さい。  
宜しくお願い致します。

## 実習総責任者

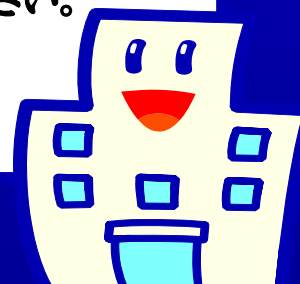
リハビリテーション科  
作業療法士 吹野貴

メールアドレス↓↓↓

[t\\_fukino@tmg.or.jp](mailto:t_fukino@tmg.or.jp)



Mail



# 実習生アンケート結果

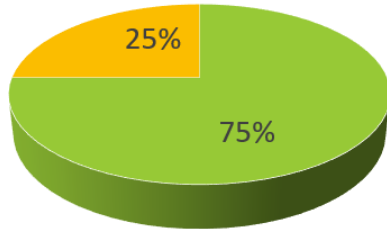
集計期間：2019年4月～2020年3月

治療実習 6名 評価実習 4名 その他 2名 (PT学生 9名、OT学生 3名) 合計12名

学生の皆さんアンケートの協力  
ありがとうございました!

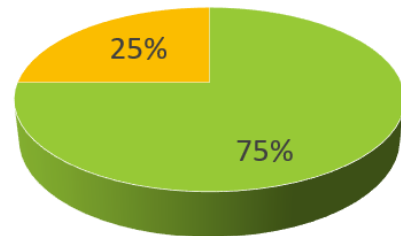


## 臨床実習は全体的に楽しかった？



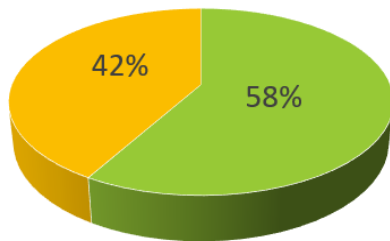
■ とてもそう思う ■ 大体そう思う  
■ 少しそう思う ■ ちっとも思わない

## 指導は理解しやすかった？



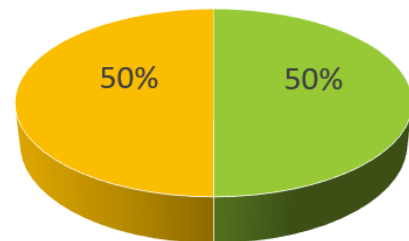
■ とてもそう思う ■ 大体そう思う  
■ 少しそう思う ■ ちっとも思わない

## 自分の長所や短所が明確となりステップアップに繋がれそう？



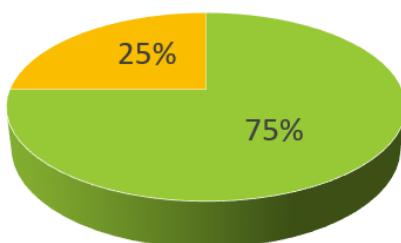
■ とてもそう思う ■ 大体そう思う  
■ 少しそう思う ■ ちっとも思わない

## 臨床の実際を学ぶことができ、自分のイメージと合っていた？



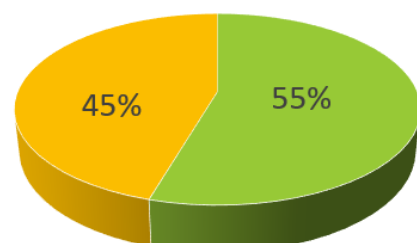
■ とてもそう思う ■ 大体そう思う  
■ 少しそう思う ■ ちっとも思わない

## CCSシステムでの実習は満足できた？



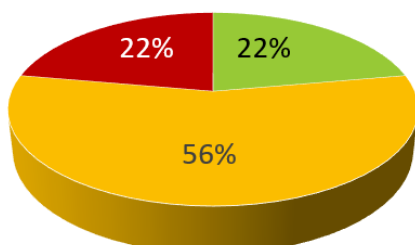
■ とてもそう思う ■ 大体そう思う  
■ 少しそう思う ■ ちっとも思わない

## ポートフォリオでのディリーはまとめやすかった？



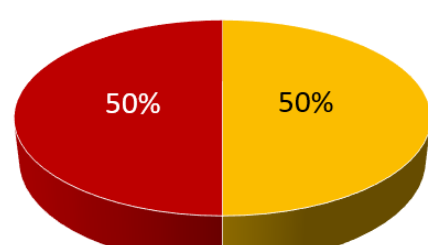
■ とてもそう思う ■ 大体そう思う  
■ 少しそう思う ■ ちっとも思わない

## 課題等の負荷量？



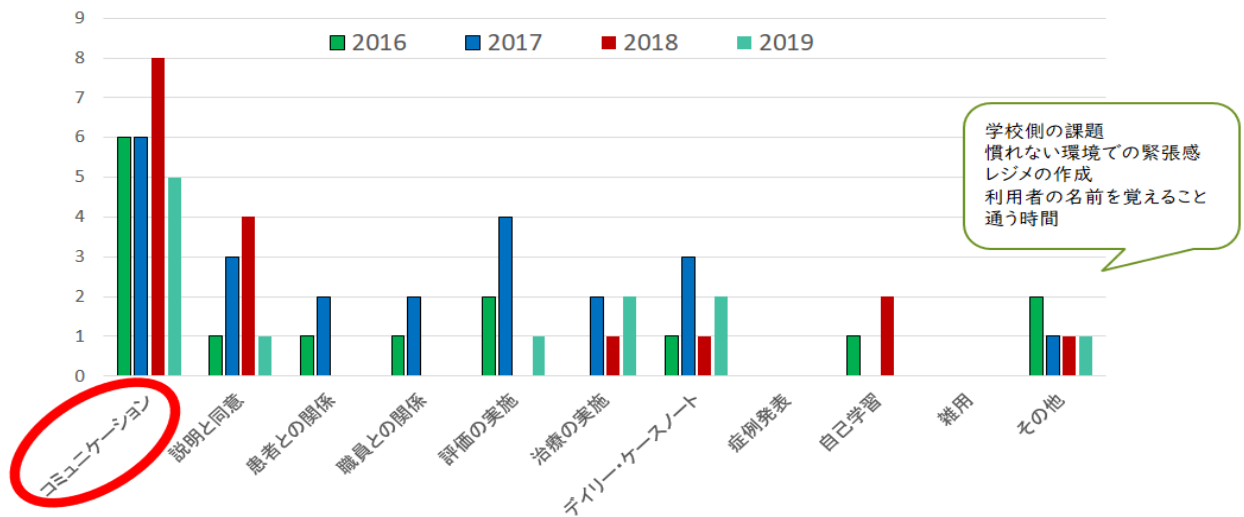
■ 少ない ■ やや少ない ■ やや多い ■ 多い

## 平均の睡眠時間は？



■ 4時間未満 ■ 4~6時間 ■ 6~8時間 ■ 8時間以上

実習中一番大変だった内容を1つ選んで下さい。



## 臨床参加型実習を終えて...

臨床現場の概要が分かるため、実際に療法士として働く前から心構えができる (2件)

睡眠時間が多くとれ実習が集中できた。

評価・治療の目的が理解しやすく、様々な方に触らせて頂く機会をもらい、自分自身に繋がった (11件)

学生に見本を提示して下さるので迷わず治療ができた (2件)

多くの症例を学べた (19件)

パイザーと同じ行動をすることで臨床での動きが想像しやすい。また質問もしやすかった (3件)

クール毎の面接にて、自分の課題がみつかり、次のクールに生かすことができた。

他の学生と同じやり方の為、学生同士で相談がしやすい。

できない事に対して恐がる必要がなくなれた。

3名の指導者、3部署のリハビリについて深く学ぶことができ、知識の引き出しが増えた (3件)

レベルに合わせて体験内容が変化するため、向上を身近に感じられた。

課題が明確で取りかかりやすい戸惑いが少ない (3件)

次の実習が不安。 (3件)

評価時間が少ない (6件)

自分で考察する機会が少なかったこと (2件)

単発なので治療効果がわからなかった (3件)

従来型の実習に対する不安を感じた...

1つの症例に対して深く関われない (浅く広い) (7件)

学校側でレポート・レジメが課されており戸惑う (7件)

部署による患者数が違いすぎて混乱した (2件)

### ★実習担当者より★

学生アンケートを基に毎年研修会を行い実習内容等の振り返りや改善をしています。当院での教育実習理念である「今日の体験は明日への希望！目指せ感性豊かなセラピスト！」を基に臨床実習に取り組んでいます。これから実習に来られる学生さんは不安でしようがないかも知れませんが、セラピストと共に臨床現場での経験を多く積み自分の夢に近づけるように頑張りましょう！！